

SC だより

心も ほっこり
体も ほっこり

♀ 人と人が つながるとき ♀



人と人が つながるとき



どんな時、人と人は、つながることができるのでしょうか？

たとえば... ふだん目立たない人が、思わぬドジをやらかして、照れくさそうに苦笑いしているところに、たまたま通りかかりました。驚いた拍子に、目が合っ、お互いほっこり。こんな時、言いたことがない相手とも、何だか つながることができた気がしてきます。

困っているときに、同じように困っている姿を見て、悲しいときには、同じように悲しい表情でそとそばにいてもらったとき...

張りつめた空気の中で、目が合った人と思わず「緊張しますね」「どうですか、緊張しますよね」と伝え合えたとき...

失敗して落ち込んでいるときに、「実は自分も...」と、今までさほど親しくなかった人が、失敗談を打ち明けて聞かせてくれたとき...

人と人がつながるのは、言葉や理屈だけでなく、人間味あるその人そのものが見えたときなのかもしれません。



『目は口ほどにものを言う』とは、なるほど!! です。コミュニケーションの9割くらいは、言葉や話しの内容ではなく、ノンバーバル(非言語)なものと言われています。

ふとしたくさ、表情、視線、姿勢、語り口調、声のトーン、話すはやさ、間のとり方、思わず出た言葉の端々に... その人の、人間としての持ち味がにじみ出るものです。

こうした非言語なものをもとに、お互いを理解するのかもしれない。

言葉なくも理路整然と話すことや、流ちょうに沈黙なく会話を続けることがたとえ苦手であってもいい。

口べたで、かまわない。

緊張して、かんでしまっても、声が震えていてもいい。

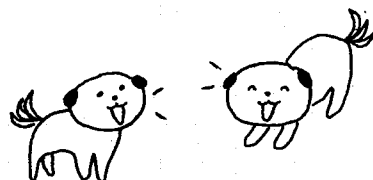
不器用なまま、冷汗を流しながらでも、深呼吸しながらでもいい...



とりつくりより、そのままの自分をオープンにしてみる。

すると、相手も、よろいせかぶとせ身につける必要がなくなります。お互い安心😊

そこで はじめて、人と人は つながることができるのかなあ... と思っています。



えー あー
おたくは... かなり...
口べたでして...
... はい
(冷汗)

スバルカキコ
さとうとも子

